

リサイクルの
洋服・着物・家具
の安価販売！

りっくるだより No. 237 (2022年7月号)

お手頃価格の
着物リメイク製品・手すき
葉書・ふすま張替

工房イベント

廃材で作る積み木の恐竜

日時：7月17日(日)
10:00~14:30
内容：廃材で恐竜の形の積み木を作ります
対象：小学生以上の親子または大人(大人は電動糸のこ経験者)
人数：5組
参加費：600円
持参品：あれば筆、雑巾1枚、ごみ袋1枚
持ち帰り用袋1枚
汚れてもいい服、昼食
締切：7/8(金)必着



企画イベント

パッカー車がやってくる！
～松山のごみ事情～

日時：7月30日(土)
13:30~15:00
内容：パッカー車が粗大ごみを圧縮する実演と松山市のごみのお話
対象：小学生以上の親子または大人
人数：15名程度
参加費：無料
持参品：筆記用具、帽子、水筒
締切：7/15(金)必着



申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、HP イベント申込フォームで <https://rikkuru.jp>
住所・参加者全員の氏名(フリガナ)・学年・電話番号・イベント名を記入の上、
〒790-0054 松山市空港通 1-1-32 ★4月より、メールでの申込は、HP イベント
まつやま Re・再来館「●●」係 まで 申込フォームのみとさせていただきます。



りっくるHP

松山市はゴミの排出量が少ないランキング2位(人口50万人以上・令和2年度)

環境省は、令和2年度における1人1日あたりのゴミの排出量が少ない自治体ランキングを発表した。それによると、松山市は前年度より9.9g減らして763.2g/人日。前年度1位の八王子市も2g減らして768.1g/人日。松山は八王子市よりも少なかった。しかし、前年5位であった京都市は758.9g/人日で、前年より77.8gも減らして1位となり、松山市は惜しくも2位にとどまった。

京都市の人口は73万世帯146万人。そのゴミについて調べたところ、家庭からの排出量は5年前の28年度から元年度まであまり変動していない。2年度は元年度よりも2500t増加している。減ったのは事業者が排出し業者が収集したゴミであり、27400t(16.6%)も減った。その大きな要因はコロナ禍。京都市は前年の元年度に観光客を5352万人、修学旅行生を110万人受け入れていたが、2年度の観光客は約60%減の531万人、修学旅行生は78%減の16万人だった。

京都市はピークの2000年から、ゴミ減量の取り組みをはじめ、20年連続で減量した結果、排出量52%減を達成した。処理場も20年前は5工場あったのが、現在は3工場で処理している。また、2021年度から始めて2030年度までにゴミの排出量を700g/人日とするなど、意欲的な「京・資源めぐるプラン」をはじめており、唯一の最終処分場の延命や処理場2工場体制での処理を考えている。

京都市も八王子市も家庭からのゴミ回収は指定ゴミ袋により有料であるが、松山市は無料である。そのことも踏まえると、この素晴らしい成績はこれまでの松山市民の皆さんの継続した尽力と協力の賜物による。(伊藤)

修理工房

<持込可能な家具の修理><網戸張替>

7月2日(土)10~12時

※ 申込方法・締切(6/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要！
※ 家具・網戸実費(400円程度/網・ゴム持参は100円/横幅85cm以上は別料金)

※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。
※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで5ヵ月前まで閲覧できます。
※ facebookで日々のできごとを掲載しています！
ホームページ <https://rikkuru.jp> からログイン！